

大府
かわら版値上げ
値上げが
続くなか市民負担 **増** でいいのか!?問題点
指摘し

3つの事業会計決算に反対

日本共産党・久永かずえ市議

9月議会・続報

問題①
後期高齢者医療保険料
保険料大幅増が
年金生活を直撃

9月の定例市議会では「後期高齢者医療事業特別会計」と「下水道事業会計」「水道事業会計」の令和6(2024)年度決算認定が議案に。日本共産党の久永かずえ市議は、物価高騰が市民の暮らしを痛めつけているもとで、さらなる負担増は避けるべきとの立場から問題点を指摘し3決算に反対しました。

族の負担増にもつながります。あらゆる物価の高騰が続くもとで、年金収入は増えていかない年金生活者にとっても、追い打ちをかける負担増です。

75歳以上の市民の多くは、年金収入のみです。物価の高騰は収まらず、

おむつなどの介護備品も値上がりしています。医療に係る頻度も多くなり、介護を必要とする年齢でもあります。1人暮らしや老々介護、働きながら介護、子育てという家庭もあります。介護に疲れ、ショートステイの通所、介護施設へ入所するにも利用料が必要です。

そんな中での保険料の大幅値上げと、そもそも医療費がさらに必要となる後期高齢者の保険料だけで賄えるような制度ではありません。制度そのものにも改めて反対します。

問題②
下水道料金が2割高に
暮らしを守る
値上げ延期判断を

大府市の下水道事業は、一般会計からの繰り入れ金が必要とはいえ、経営収支は純利益を得ています。経営の健全性を示す経営収支比率も、「健全経営の水準」とされる100%を上回って、100・32%に。それでも市は、令和3年度に決めた「下

水道料金20%の値上げを2段階でこなう」方針を、そのまま続けてきています。

第1段階として約9%の値上げを行ったのが令和4年度。すでに諸物価高騰のさなかでした。そして、令和7年(今年)の4月には、第2段階目となる約11%の値上げをそのまま進めました。合わせて20%の大幅値上げ計画です。

この問題で久永市議は、要旨以下のように問題点を指摘し、令和6年度下水道事業会計決算の認定に反対を表明しました。

施設の老朽化を見据えた維持管理や更新にむけて、いずれ値上げをせざるを得ないにしても、健全経営を中長期的に進めていくのであれば、コロナ禍が広がるさなかの令和3年度に20%もの値上げを決めたことは、そもそも市民にとって負担が大きすぎます。それを2段階に分けて進めるとしてきましたが、物価高騰下の市民の状況をふまえ、せめて令和7年度の第2段階・11%の値上げは「延期する」という判断が、令和6年度には必要だったのではないのでしょうか。

問題③
水道事業の問題点は
不安残して
民営化を準備

水道事業についても、市民の財政的負担を増やし安全・安心も保障されない民営化の準備を令和6年度に行ったことを理由に反対しました。

相談はお気軽に
声かけください

生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

11月19日(水)午後6時～^{無料}

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話

志位和夫 議長 と語る

自治体労働者の集い

11.9 日 13:30～16:30

TKP ガーデンシティ
PREMIUM 名駅西口 3F カペラ (名古屋駅西口から徒歩5分)↑質問・要望は
こちらから

政治への願い、志位議長への質問大募集!



ごあんない

自治体職場の現状をどう改善するのか——日本共産党の志位和夫議長が自治体で働くみなさんとともに考えるトーク集会です。